

今富の歴史・風習を紹介します【学芸員:高木】

この夏の世界遺産登録に向けて、崎津集落が注目を浴びていますが、周辺の地域にも同じ歴史・風習があります。今回は、今富の歴史・風習を紹介します。

今富は以前、隣村の崎津とあわせて「崎津浦」と呼ばれていました。江戸時代前期頃までは今富神社付近まで海岸が広がり、海浜では年貢の積出・荷降ろし、峠道では山林資源の運搬が行われるなど、交通の要衝となっていました。江戸時代後期には、干拓事業により農業を拡大させ、山では炭焼きが行われていました。漁業を生業とする崎津とは密接な関係にあり、「メゴイナイ」と呼ばれる行商等により崎津の海産物と今富の野菜や木炭の往来が行われました。



▲文政6(1823)年の絵図
(九州大学蔵)



▲幸木

(杵で十字を組む)

キリスト教布教以前の今富は、仏教や山岳修験の信仰と地域の文化が融合した地域でした。キリスト教布教後は、多くの住民がキリシタンとなりますが、禁教期には潜伏キリシタンとして、密かに信仰を続けました。

明治時代のキリスト教解禁後は、崎津や大江と同様に今富にも今富教会が建てられますが、多くはカトリックに復帰せずに「かくれキリシタン」として信仰を続けました。

指導者である水方が途絶えた現在、信仰は衰退してしまいましたが、正月飾りの幸木等に潜伏キリシタン時代の風習が残っています。他にも、集落には聖水汲み場や山中の聖地、墓地等、信仰に関わる史跡が多く残っています。

(次回は今富の史跡について説明します)

今富でどんどやが行われました！！

1月7日(日)に、今富地区で初めてのどんどやが行われました。交流施設横の広場に竹を組み、午前10時に点火されました。

餅を焼いたりぜんざいを食べたり、竹製のおちょこでお酒を飲んだりされ、新年をお祝いされたようです。今年とても好評だったので、来年以降も継続して、新年の名物行事になって欲しいですね。



【どんどやの様子】

「天草市文化的景観整備管理委員会」を開催しました

12月18日(月)、水前寺共済会館において、平成29年度第1回の委員会を開催しました。地元代表委員として出席いただきました区長さん、振興会長さんには長時間大変お世話になりました。①旧漁師網元邸(岩下家)整備、②旧富津小学校跡地整備、③観光交流広場(紋付屋跡地)整備、について審議いただき、世界遺産登録銘板等の設置に関することや町の川内川砂防ダムの進捗状況などが報告されました。



①旧漁師網元邸(岩下家)整備について 【担当部署:世界遺産推進室】



旧漁師網元邸(岩下家)は、「漁師網元の中で、明治25年(1892)に建てられた現存する住宅」(保存計画書)であり、「崎津・今富の文化的景観」の重要な構成要素になっています。現在、地域団体「さいのつ」によるおもてなし活動拠点(「よらんかな」)として活用していますが、建物の老朽化が著しくなっており、建物の適切な保存と、今後の来訪者の受け入れ環境の充実を図るために、改築を行います。

この建物は造りが古いため、基礎を新しく作り変える必要があり、内装や柱にも腐食しているところが数多くあります。このため、工事の方法については、建物を一度解体して、使用可能な部材を確認し、再利用する解体復原工事を行います。重要な構成要素としての価値である「漁撈ぎょうろうの営み」を伝える施設とするため、間取りは大きく変えずに、現状を復原する予定です。

整備後は、休憩施設として活用するとともに、崎津の漁業の歴史などについて、漁具の展示やパネル等を使って紹介する計画です。また、住民の皆さんにも使っていただけるよう運営面についても検討していきます。

工事は平成30年の夏に着手予定で、平成31年のオープンを目指して整備を進める計画です。近隣の方には、個別に説明に伺います。

<イメージ>



↑西側(道路側)からの立面図



↑南側からの立面図

<委員会の意見>

- ・万が一、火事があった場合の延焼を防ぐ対策を検討すること。
- ・不同沈下への対応として基礎(べた基礎)は十分か再検討すること。
- ・建物の歴史をどのように整備に反映するか検討すること。

② 旧富津小学校跡地整備について 【担当部署:河浦支所】

跡地活用について、これまでの検討をもとに、設計を行いました。

大掛かりな整備は行わず、多目的広場として活用します。周囲は散歩コースにするため、遊歩道を整備し、水路側には樹木の植栽を行います。また、グラウンドは、整地を行い、イベント時等の臨時駐車場として活用します。平成30年度の着手を目指しています。



↑ 計画平面図

＜委員会の意見＞ 散歩コースの植栽は、樹木の種類など再度検討すること。

③ 観光交流広場(紋付屋跡地)について【担当部署:都市計画課/観光振興課】



紋付屋旅館跡地を、崎津の歴史や風土を感じながら、来訪者や地域の皆さんが憩い・交流できる広場に整備します。地域の皆さんとのワークショップや話し合いを重ね、本委員会でも意見をいただき、詳細な設計が完了しました。平成30年6月頃の完成を目指しています。

＜委員会の意見＞ 管理方法を検討すること。

← 計画平面図

④ 世界遺産登録銘板等設置

【担当部署:世界遺産推進室】

世界遺産に登録された後に、登録銘板を設置する予定です。長崎県の11の構成資産と統一されたデザインで、世界遺産としての価値にふさわしい風格と信頼性のある情報発信を行うことを目指しています。今後、設置場所を検討します。



＜イメージ＞

⑤ 今富地区「町の川内川」砂防ダム改修

【担当部署:熊本県天草広域本部】

未買収地の交渉が妥結したため、今後、工事に着手することになります。管理用道路

の線形の見直しや流路工に階段工を追加することなど、設計の変更点について説明がありました。



崎津資料館 みなと屋だより

1月11日からの雪はすごかったですね。朝から雪に埋もれた12日、みなと屋もつどい処まつだも通路を確保して、なんとか通常通り午前9時に開館することができました。

降り続く雪の中、お客さんは来ないだろうと思っていましたが、なんと夕方4時近くになって1人の来館者が。東京から来たというそのお客さんは「帰ったら『天草は雪国だった』とみんなに言うておきます。」と冗談交じりに言うて帰られました。幸い大きなトラブルもなく、白銀の世界と化した崎津を堪能した1日でした。



「第3回みなと屋講座」を開催します

★演題：「崎津の墓地景観」～崎津墓地の調査報告～

★講師：高木龍弘氏（市学芸員）

★とき：2月17日（土）午後1時30分～3時

★場所：崎津資料館みなと屋2階

現地見学も予定しておりますので、動きやすい服装（運動靴等）でご参加ください！

★定員：20人（先着順） ★参加料：無料

※2月16日（金）までに電話または直接みなと屋まで申し込んでください！

★電話：0969-75-9911

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。



↑【1月12日の大雪の様子】

崎津集落ガイダンスセンター便り

【ハルブ神父のオルガン修復披露&講演会開催！】

1926年に崎津教会に赴任されたハルブ神父が1927年に長崎から崎津教会へ持ち込まれたとされるフランス製のオルガンの修復が完了したことを記念して、修復披露演奏会及び、崎津教会の設計者である鉄川与助氏のご令孫である鉄川進氏の講演会が開催されます。参加希望の方は、天草宝島観光協会への申込みが必要になります。詳しくは天草宝島観光協会電話22-2243までお尋ねください。貴重な機会ですのでぜひお越しください。

【演奏会及び講演会】

とき：2月4日（日）

演奏会 14時30分から15時

講演会 15時から16時30分

場所：崎津教会

【次回の河浦中学校観光ボランティアガイドの日程】

日時：平成30年2月24日（土）14時30分～15時20分

場所：きんつ市場スタート・ゴール

（天草ぐるっと周遊バス〈Bコース〉の崎津集落散策） ★可愛いガイドたちをご覧ください。

発行 天草市役所世界遺産推進室 TEL76-1116 FAX76-1359